

スタッフ紹介

【監督】谷口 友春



金沢二水一中央大
前国体石川県少年男子監督
日本協会公認 A 級コーチ

【部長】奥 洋志



鶴来一京都産業大
監督として1回
部長として3回
花園を経験
日本協会公認 A 級コーチ

【顧問】岡崎 正通



星陵(兵庫)一立命館大



柔道部・バスケット部の
助っ人とともに！

花園予選決勝
スポンサー応援団

地域・学校に愛されるラグビー部を目指しています！

ラグビーだけをやっているわけではありません！

地域・学校から愛されるラグビー部をめざして、

ボランティア活動、地域クラブチーム、ジュニアチームとの交流を積極的に行っています！

応援されるラグビー部になれるよう、学校生活の充実にも力を入れています！



除雪ボランティア



石川 Jr. との
合同練習



鶴の恩返し作戦
清掃ボランティア



ポルタリング
トレーニング

ラグビー部 Q&A

*部費や遠征費、諸経費はどれぐらいかかる？

部費は毎月 3,000 円頂いています。夏合宿 45,000 円程度、GW 関西遠征 30,000 円程度、新潟遠征 3,000 円程度、冬季遠征 14,000 円程度を別途頂いております。(令和元年度の場合) 1 年生は別途用具購入費用を頂いております。

*安全面が心配…

ラグビーは危険が伴うスポーツであることは間違いありません。そのため、ラグビー部では安全対策とケガをしない体づくりにトレーニングの一環として取り組んでいます。外部講師や理学療法士による栄養講習も行っています！

また顧問は毎年、県協会公認「セーフティ・アシスタント講習」を受講しています。

*未経験でも大丈夫…？

全く問題ありません！ラグビーは高校から始める人の多いスポーツです。ラグビーは 15 のポジションがあり、それぞれで誰もが活躍できます！高校からラグビーを始めて、日本代表やトップリーグで活躍している選手もいます！【上田聖選手(本校 OB)、田村優選手、中村亮土選手など】

・鶴来高校ホームページ内 「ラグビー部日誌」 随時更新中！

・平成 30 年度、令和元年度、令和 2 年度、令和 3 年度

ラグビー部プロモーションビデオ YouTube にて限定公開中！



ラグビー部
日誌



プロモーションビデオ

ようこそ鶴来高校ラグビー部へ！



新入部員募集中！

未経験者大歓迎！



鶴来高校ラグビー部公式マスコットキャラクター

しっしーくん

普段の活動

限られた時間で高密度の活動

【活動時間】平日：授業終了後～2時間程度

休日：半日練習（2～3時間程度）

【適宜、試合やイベントが入ることもあります!!】

【活動場所】グラウンド、ピロティなど



専用グラウンド



ピロティ (雨天練習場)



室内トレーニング場



最新鋭のトレーニング機器!

恵まれた環境でラグビーに打ち込める環境が!

1年の流れ (令和元年度)

4月	セブンス大会	10月	花園予選
5月	GW 関西遠征 (天理&朝明) 中谷賞	11月	花園予選 新人大会
6月	北信越大会	12月	OB 交流試合 冬季関西遠征
7月		1月	
8月	菅平合宿	2月	ステップ講習会 五層交流会
9月	新潟遠征 (開志国際) ラグビーW杯パブリックビューイング	3月	3年生を送る会

一生の思い出ができる!



4月 セブンス大会



5月 GW 関西遠征



5月 中谷賞



8月 菅平合宿



9月 W杯パブリックビューイング



2月 ステップ講習会

令和元年度公式戦記録

【セブンス大会】鶴来 38-5 金沢二水 鶴来 0-50 航空石川 **準優勝!**

【中谷賞】鶴来 85-12 金沢二水 鶴来 7-76 航空石川 **準優勝!** 北信越大会進出 **11月 花園予選決勝**

【北信越大会】鶴来 55-7 富山合同 鶴来 14-41 岡谷工 **Cブロック準優勝!**

【花園予選】鶴来 107-5 金沢二水 鶴来 0-80 航空石川 **準優勝!**

【新人大会】石川合同 5-29 金沢二水 **ベスト4**

花園出場が目標!!

令和2年度公式戦記録

【花園予選】鶴来 42-12 金沢二水 鶴来 57-19 羽咋工業 鶴来 0-125 航空石川 **準優勝!**

先輩たちの活躍 (令和元年度卒業生)



TIDキャンプ: 高校日本代表につながる
人材発掘のための合宿

在校生よりメッセージ

<p>31H 菅村 祥隆</p> <p>金大付属中〔石川 Jr〕</p> <p>入学おめでとうございます! 鶴来高校ラグビー部では他の部活では経験できない楽しさや感動があります! ラグビーを通して出会う人や目標を目指して取り組む時間はこれからの人生の糧に必ずなります。ラグビーで青春しませんか!?</p>	<p>32H 花野 立</p> <p>鶴来中〔陸上部〕</p> <p>ラグビー部に入るまで何事にもやる気は出なかったけど、ラグビー部に入ると色んなことにやる気ができるようになりました。</p>	<p>34H 炭谷 挑</p> <p>野々市中〔陸上部〕</p> <p>僕はラグビー部に入ってカッコイイ先生、楽しい仲間、支えてくれるマネージャーに出会えてとても良かったと思っています!試合で勝った時は楽しかったし、トライした時の嬉しさは格別です。そのためには努力した事が目に見えて実感できるので、皆さんと一緒にラグビーして、楽しい学校生活を送りましょう!</p>	<p>34H 森 裕聖</p> <p>高松中〔石川 Jr〕</p> <p>ラグビー部に入ってよかったことは周りから応援されたり学校生活では先生方から信頼されたりなど、とても良いことが沢山ありました。また、心身ともに大きく成長出来ました!一緒にラグビーをしませんか?</p>
<p>21H 田島 汰一</p> <p>額中〔石川 Jr〕</p> <p>鶴来高校ラグビー部は、高校から始めた仲間もいて、OBや地域の方々に支えられながら、花園出場を目標にし、夢をつかむために頑張っています。一緒にラグビーをして人生を変えてみませんか。</p>	<p>24H 木村 晴</p> <p>浅野川中〔サッカー部〕</p> <p>鶴来高校ラグビー部はとても楽しい部活動です。OBの方々もたまに参加し、沢山のことを教えていただき、地域から支えられるような部活です。僕がこの部活に入って良かった事は伝統あるラグビー部の一員になったことや、先輩方に教わり日々成長出来ることです。なので、皆さんも、この鶴来高校ラグビー部に入って航空石川をぶっ飛ばしませんか!?</p>	<p>24H 高崎 颯</p> <p>額中〔石川 Jr〕</p> <p>自分は小学生の頃からラグビーをしていて、昔から体が小さいことがコンプレックスでしたが、鶴来高校の充実した設備で日々トレーニングに励んでいます。初心者も経験者も大歓迎です。一緒に鶴来高校ラグビー部で熱い青春を送りませんか!</p>	

卒業後の進路

【進学】

都留文科大学 日本体育大学
法政大学 拓殖大学 天理大学
流通経済大学 山梨学院大学
名古屋経済大学 名城大学
愛知工業大学 金沢星稜大学
金城大学 金沢学院大学

など

【就職】

金沢村田製作所 (株)チェングロウス
東レ(株)石川工場 北川ヒューテック(株)
日本郵便北陸支社 (株)久盛建設工業
若松梱包運輸倉庫(株) 自衛隊
(株)フォレストジョブ (有)ツトム管工事
など

ラグビー部で理想の進路を実現してみないか？

OBの活躍

鶴来高校を卒業して拓殖大学に進学した山本晟人です。自分は小さい時からラグビーをやっていますが、高校の3年間はとても大切な時間で1番成長させてくれたと思っています。ラグビーは1人ではできないスポーツなので仲間との助け合いや、自分がするべきことなど、たくさん考えることがあり、今後社会に出た時に必ず役に立つと思います。そんな魅力いっぱいの鶴来高校ラグビー部に入部してみたいかがででしょうか？



私は高校の時にラグビーで17歳以下日本代表合宿、石川県代表、花園出場、大学は大東文化大学からお声掛け頂き、進学することとなりました。

高校、大学で培った忍耐力、体力、仲間との団結力は社会人になる際にも非常に有利であり、現在、私が警察官として活動できるのも、このおかげと思っています。

そして、何よりも同じ釜の飯を食う仲間達との生活は人生の中でかけがえのないものになり、私の人生の中での宝物になっています。

鶴来高校ラグビー部OBの上田聖です。現在は東京でキャノンイーグルスというラグビーチームに所属しています。

僕は高校からラグビーを始めました。兄の影響も大きいですが、新しいスポーツにチャレンジしたい気持ちが強かったからです。ラグビーはチャレンジするにはとても良いスポーツです。それぞれのポジションに役割があり、責任があります。そして何より一生ものの『仲間』と巡り合えます。

新しい高校生活で何か始めたい、挑戦したいと思っているあなたへ私の経験から、ラグビー部への入部を強くお勧めします！



現役トップリーガー

トップリーグ・社会人リーグで活躍する先輩方



キャノンイーグルス
上田 聖 選手
(H19年度卒 天理大学)



ユニチカフェニックス
橋野 拓也 選手
(H19年度卒 愛知工業大学)



横河武蔵野アトラスターズ
酒井 亮八 選手
(H15年度卒 朝日大学)



あの感動を

君は覚えているか!?



鶴来高校でラグビーするなら

ラグビー部

部員募集中!



RUGBY
WORLD CUP™
JAPAN 日本 2019